



一般区域…住宅地

・色彩の現況と課題

市内にはデルタ市街地のほか、JR 可部線、芸備線やアストラムラインに沿って多様な住宅地が存在しています。これらの中には地区計画制度や建築協定などにより、良好な景観の維持に努めている区域も多く、色彩については、暖色系色相の低彩度色を中心に、暖かく落ち着いた雰囲気の色相の色彩景観が形成されています。現況では、一部に赤や黄色等の原色を基調とするなど、周辺から突出するような住宅も混在していますが、住宅地においては、個々の建築物の適度な個性の中にも周辺との協調による落ち着きやまとまりの表現が大切であることから、過度な主張を避け、周囲になじむ色彩を基本にしながら、居心地がよく永く飽きがこない景観を形成することが必要です。

・目標とする色彩景観

暖かく落ち着いた雰囲気が感じられる色彩景観

現況でも多く用いられている暖色系色相の低彩度色を基本とし、街並みの連続性や住宅地としてのまとまり、個性などに配慮しながら、庭木などの緑が映え、居心地がよく心安らぐ色彩景観を形成します。

・建築物等の色彩基準

基準の適用部位		色相	明度	彩度
建築物の外壁 工作物の外観	基調色	OR～5Y	8 超	4 以下
			8 以下	6 以下
	補助色・ 強調色	上記以外	—	2 以下
建築物の屋根	屋根色	—	—	6 以下

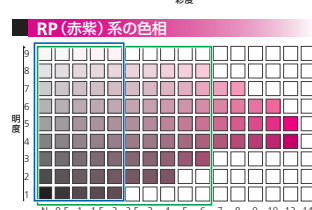
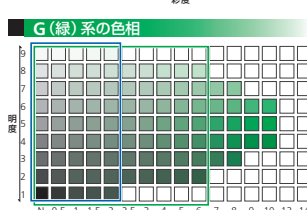
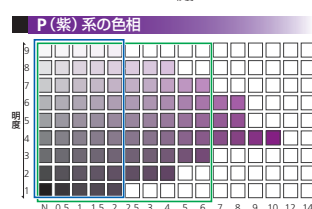
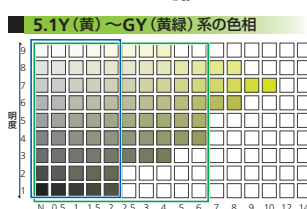
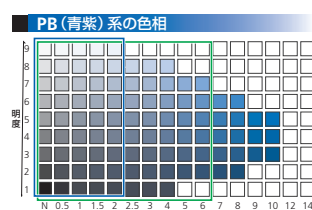
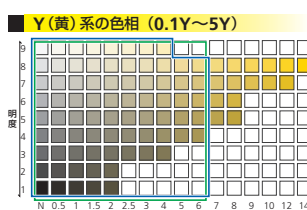
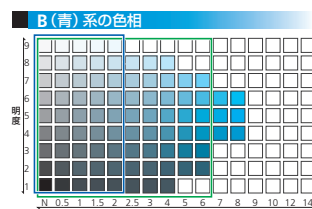
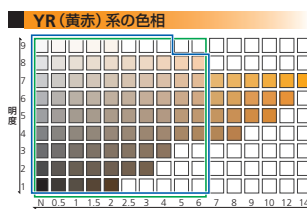
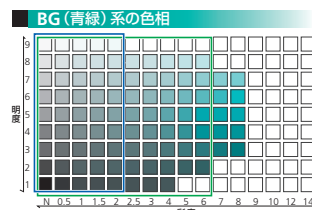
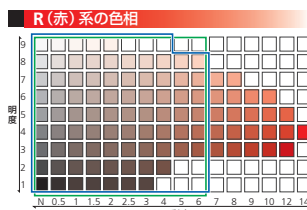
おすすめ

・地区の景観になじみやすい色彩例の選定意図

外壁色については、住宅の色彩として多用されている暖色系色相の低彩度色のうち、塗料だけでなくサイディング材やタイルなど、多様な材料で選択肢が多い、比較的明るい色調を中心に選定しています。周辺の状況を確認しながら、明度や彩度を揃えていくと連続性が感じられる落ち着いた街並みが形成されます。

屋根色については、住宅用の屋根材に用いられる瓦や化粧スレート、金属板などの標準的な色彩の中から、外壁色との取り合わせを考慮した色彩を選定しています。

外壁と屋根の組合せのほか、外壁に複数の色彩を組み合わせでしゃれた雰囲気を創出することもできますので、街並み全体の雰囲気を大切にしながら、個々の色彩選定を楽しんでください。



凡例

- 外壁又は外観の基調色の使用可能範囲
- 屋根色の使用可能範囲

・地区の景観になじみやすい外壁色の例



・地区の景観になじみやすい屋根色の例



※周辺の景観要素や隣接する建物の色彩などに配慮し慎重に選定してください。

一般区域…商業地

色彩の現況と課題

駅周辺や幹線道路の沿道には、商業・業務ビルや店舗等が集積した、にぎわいのある街並みが形成されています。こうした区域の中には一見してけばけばしい雰囲気を感じられる場所もありますが、建築物の基調色については落ち着いたものが多く、原色を基調とするような派手な建築物はごく一部に過ぎません。

また、強調色や屋外広告物の色使いを整えることにより、洗練されたおしゃれな街並みの形成が期待できる地区も多く、立地する建築物のスケールやデザインなどを考慮しながら適切な色使いを行うことにより、建築物単体の個性だけでなく、街並みとしての特徴を形成していく必要があります。

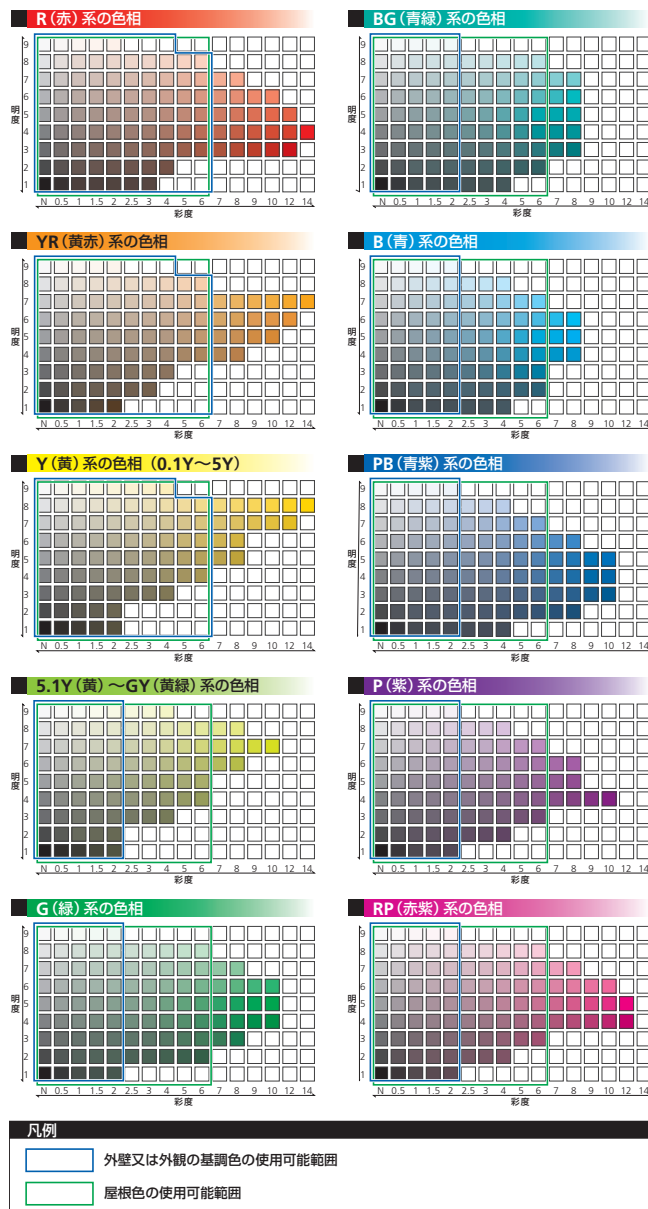
目標とする色彩景観

にぎわいの中にも品格が感じられる色彩景観

人々が集い交流するにぎわいの中にも、秩序や節度が感じられる色使いにより品格を保ち、多くの事業者が協力しながら、市民や来訪者が安心して集うことのできる色彩景観を形成します。

建築物等の色彩基準

基準の適用部位	色相	明度	彩度
建築物の外壁 工作物の外観	基調色	OR～5Y	8超
		8以下	6以下
	上記以外	—	2以下
建築物の屋根	補助色・ 強調色	できるだけ低層階で用いる	
		屋根色	—
建築物の屋根	屋根色	—	6以下



地区の景観になじみやすい外壁色の例



地区の景観になじみやすい屋根色の例



※周辺の景観要素や隣接する建物の色彩などに配慮し慎重に選定してください。

おすすめ

地区の景観になじみやすい色彩例の選定意図

外壁色については、にぎわいの創出が期待される商業地にふさわしい華やかな色彩や明るく楽しい印象の色彩を中心に選定しています。また、来訪者を温かく迎える暖色系色相を中心に、多様な表現に対応できるよう明度や彩度の選択肢を拡げています。

なお、商業ビルなどは陸屋根のものが多く、外壁の色彩選定が中心になりますが、道路沿いなどでは勾配屋根を用いた店舗も数多く見られることから屋根色についても例示しています。



一般区域…工業地

色彩の現況と課題

本市では海沿い（シーフロント地区）や西風新都（西風新都地区）などに工業地が集積していますが、これらの他にも、山陽自動車道や国道に沿った利便性の高い地域に工業団地等が点在しています。

現況の工業地は、白やグレーなどの明るく落ち着いた色彩が基本になっており、清新な印象の景観が形成されています。

一方、工場や倉庫等の建築物は、一般に規模が大きく、単調な箱型の形態となりやすいことから、こうした建物特有の威圧感を軽減するために、複数色を組み合わせることで分節化したり、補助色や強調色の適切な使用により、外観に親しみやすさを創出していく必要があります。

目標とする色彩景観

清潔で活力が感じられる色彩景観

現況の明るく落ち着いた色彩を基調としながら、景観のまとまりを創出していくとともに、色彩を生かした外観の分節化などにより圧迫感が少なく親しみが感じられる色彩景観を形成します。

建築物等の色彩基準

基準の適用部位		色相	明度	彩度
建築物の外壁 工作物の外観	基調色	OR～5Y	8超	4以下
			8以下	6以下
	補助色・ 強調色	上記以外	—	2以下
建築物の屋根	屋根色	—	—	6以下

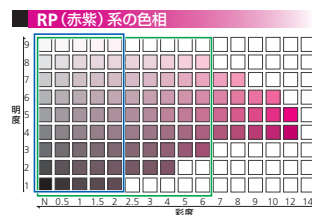
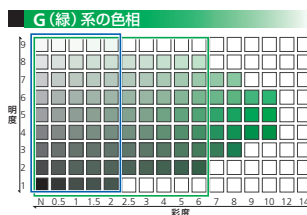
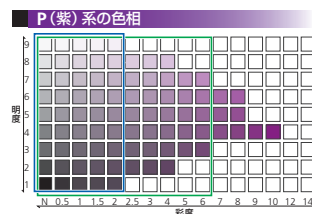
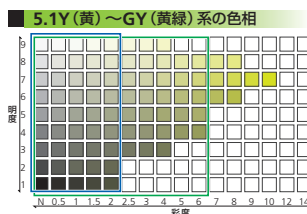
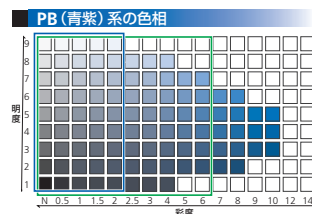
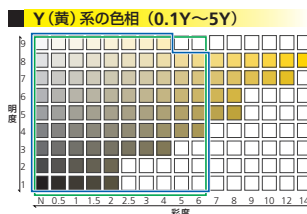
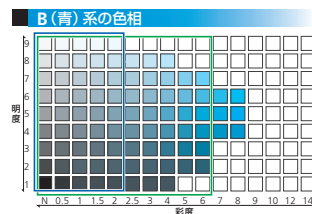
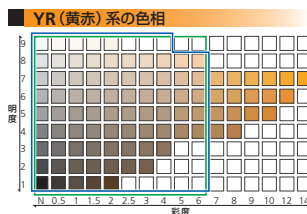
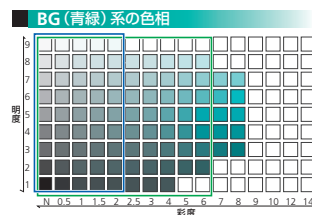
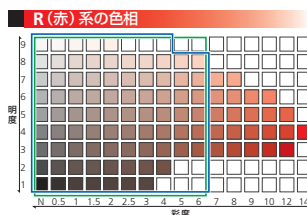
おすすめ

地区の景観になじみやすい色彩例の選定意図

外壁色については、現況の工業地で多く用いられている明るい低彩度色を中心に選定しています。他の地域は暖色系色相や無彩色が中心ですが、工業地では青系や緑系の低彩度色（クールグレー）を基調とした新しさや清潔感の表現も考えられることから、色相の幅を広げています。

なお、一般区域の工業地は緑豊かな谷筋に位置することから、こうした場所では周囲の緑との調和も加味し、過度に明るい色調を基調としないなどの配慮も必要です。

また、勾配屋根に落ち着いた色調を用いることにより、周囲の緑との調和を図ることも可能です。



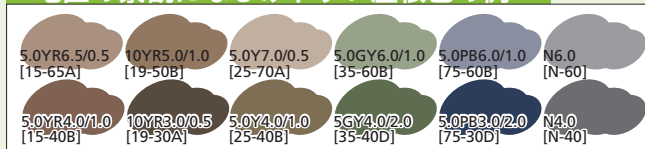
凡例

- 外壁又は外観の基調色の使用可能範囲
- 屋根色の使用可能範囲

地区の景観になじみやすい外壁色の例



地区の景観になじみやすい屋根色の例



※周辺の景観要素や隣接する建物の色彩などに配慮し慎重に選定してください。

一般区域…田園・山間地



色彩の現況と課題

本市の山間地には湯来温泉や湯の山温泉など歴史ある保養地が立地するほか、中国山地につながる棚田の田園風景なども残されています。また、農地を活用した都市住民との交流活動なども進められており、身近な自然を感じることができる貴重な空間となっています。

これらの地域に立地する建築物は、和風の意匠が中心で、色彩も地場の伝統的な建材の落ち着いた色調が基本となっています。

景観の基調である豊かな自然の色彩がいつそう色濃く感じられるよう、人工物の色彩は周囲になじむ低彩度色を基本とすることが必要です。

目標とする色彩景観

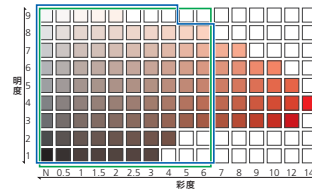
豊かな緑にとけ込む穏やかな色彩景観

四季折々に美しい色彩を見せる生きた緑の色彩が映えるよう、建築物等の色彩は穏やかな低彩度色を基調とし、地域の自然素材などを積極的に生かしながら、自然になじむ色彩景観を形成します。

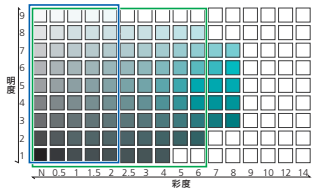
建築物等の色彩基準

基準の適用部位		色相	明度	彩度
建築物の外壁 工作物の外観	基調色	OR ～ 5Y	8 超	4 以下
			8 以下	6 以下
		上記以外	—	2 以下
	補助色・ 強調色	できるだけ低層階で用いる		
建築物の屋根	屋根色	—	—	6 以下

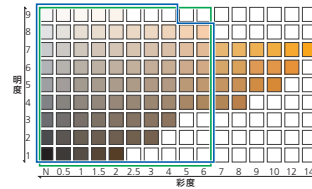
R(赤)系の色相



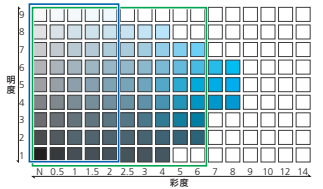
BG(青緑)系の色相



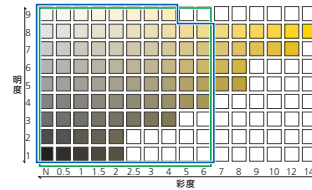
YR(黄赤)系の色相



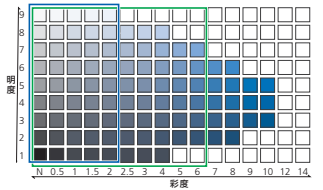
B(青)系の色相



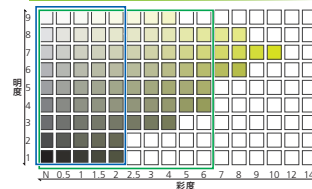
Y(黄)系の色相(0.1Y～5Y)



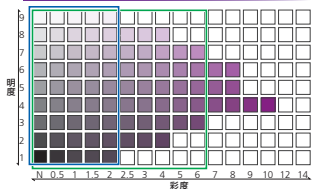
PB(青紫)系の色相



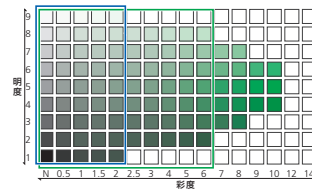
5.1Y(黄)～GY(黄緑)系の色相



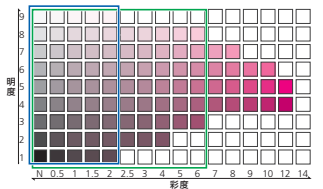
P(紫)系の色相



G(緑)系の色相



RP(赤紫)系の色相



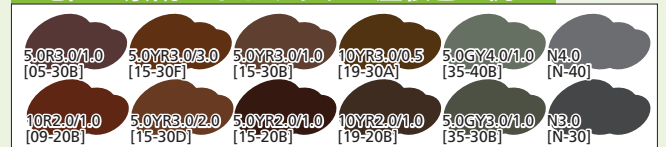
凡例

- 外壁又は外観の基調色の使用可能範囲
- 屋根色の使用可能範囲

地区の景観になじみやすい外壁色の例



地区の景観になじみやすい屋根色の例



※周辺の景観要素や隣接する建物の色彩などに配慮し慎重に選定してください。

おすすめ

地区の景観になじみやすい色彩例の選定意図

外壁色は、緑豊かな自然景観になじみやすい中明度の暖色を中心に選定しています。これらの色彩は、土壁や素木など地域で伝統的に用いられてきた自然由来の建築材料とも共通する落ち着いた雰囲気をもっています。

屋根色については明るさや鮮やかさを抑え、緑にとけ込むような色調を中心に選定しています。なお、集落地などでは、灰色のいぶし瓦など、共通の屋根材がままとりのある景観を創出している地区もありますので、色彩ばかりでなく材料等についても十分に配慮してください。